

2025年4月吉日

各位

公益社団法人日本語教育学会  
会長 西口 光一

「公益社団法人日本語教育学会 第2次中期計画の点検・評価の報告」公開のお知らせ

本学会は、理念体系に基づき中期計画を策定し、学会運営を行っています。2025年度は第2次中期計画(2021年~2025年)の最終年度であり、同時に第3次中期計画(2026年~2030年)の策定が進められる年度でもあります。

そこで、2024年度においては第2次中期計画の執行状況について、会員の代表である代議員の皆様、並びに学会運営の中核を担う委員・理事・事務局員各位から意見を聴取する形で点検・評価を行いました。評価には外部評価者をお招きし、参加型評価のワークショップも実施しています。

2024年度の春季・秋季大会にて会長・副会長から説明会を通じて経過報告をいたしました。2025年3月20日に開催された理事会にこれを総括する報告書を提出しましたので、こちらを公開いたします。下記リンクよりご覧ください。

[「公益社団法人 日本語教育学会 第2次中期計画の点検・評価の報告」](#)

点検・評価の結果、理念への賛同が得られ、事業実施状況についても概ね問題がないことが確認されました。しかし、運営面での負担が大きく、さらに逼迫した財政がその負担を増加させていることも明らかになっています。これらの課題を解決するためには、学会全体の事業を見直した事業再編や組織改革が必要であるとの指摘も受けています。

一方で、理念の実現に向けて、より多くの日本語教育関係者が集い、学び合う場として学会がさらに発展することを望む声も多く寄せられています。

これらの課題解決とニーズへの対応を短期間で実現することは容易ではありませんが、事業再編および組織改革を行い、持続可能な運営体制を早急に整備する必要があると考えられます。また、長期的な視点で理念実現に向けた取り組みを推進する必要があるという結論に達しました。

2025年3月の理事会では、点検・評価を踏まえた第3次中期計画の骨子が承認されています。第3次中期計画では、事業や委員会の再編・統合も予定しており、会員の皆様および学会に関心をお寄せの方々に、できる限りその内容をご説明し、ご理解をいただきたいと考えています。

そのため、2025年度春季大会では、会長および副会長による説明会を開催し、第3次中期計画の骨子についてお話しする機会を設ける予定です。多くの方々にご参加いただき、ご意見を賜れば幸いです。今年度も引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

<本件に関するお問合せ先> 公益社団法人日本語教育学会事務局 [お問合せフォーム](#)より

(フォーム内にあるお問合わせ種別は「学会について」を選択してください)